

於 二宮町教育委員会事務局

平成27年 4月 24日

二宮町教育委員会会議録

(定例会) 臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 9時 30分
2. 閉会時間 12時 15分
3. 教育長名 府川 陽一
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	府川 陽一
2	○	蓮 實 茂 夫
3	○	小 林 德 博
4	○	山 内 み どり
5	○	吉 田 美 佳 子

6. 出席者氏名
 教育次長 宮川康廣
 教育総務課長 黒石徳子
 生涯学習課長 三浦牧子
 教育総務課教育総務班長 竹本直昭
 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀
 教育総務課指導班長 下澤純二
 教育総務課指導班指導主事 新井久美
7. 傍聴者 4名
8. 調製者 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

平成27年度4月教育委員会定例会会議録

日時：平成27年4月24日（金）

9時30分より

場所：二宮町町民センター

3Bクラブ室

― 開会宣言 ―

（教育長）平成27年度4月教育委員会定例会を開催します。

― 署名委員の指名 ―

山内委員を指名する。

― 教育長事務報告 ―

（教育長）資料に基づいて、4月事務報告を行う。

（教育次長）資料に基づいて、4月政策会議報告を行う。

（各課長）資料に基づいて、各課の事業報告・事業予定について説明する。

○（山内委員）教育長事務報告の中で、長期欠席者の報告様式を見直したという話がありましたが、良いことだと思います。知人などから聞く保護者や子どもたちの意見と、この会議の場などで聞く教育委員会の努力、両方を聞いていて、なかなか難しい所もあると思います。今回の見直しは、特に経験の少ない教員の保護者や子どもたちへの対応等への強化につながると思います。

○（教育長）ベテランと若手の中間の世代が少ない状況において、学校文化等をどのように伝えていくかが重要であり、教育委員会でも研修などで意識をして、対応をしていきたいと思っています。不登校の対応については、早期の対応が不可欠だと考えています。これには、学校関係者や臨床心理士やスクールソーシャルワーカーなどの専門家も加わったチームで対応し、担任が中心となって率先して保護者や子ども達に向き合っていく対応が必要と考えています。

○（運實委員）確認ですが、長期欠席者が増えているという報告を以前されましたが、今回の見直しは、その中でも病気やケガ以外での長期欠席者の報告様式を見直したという事でしょうか。

○（教育総務課長）そうです。病気やケガなどを除き理由が明らかな内容ではない、いわゆる不登校などの報告を見直したものです。

○（小林委員）この報告は毎月提出だと思いますが、学校では状況をしっかり把握していますので、初期対応が大切だと思います。担当者会や研修などの機会に、教育委員会から早期対応を促してください。その他に3つ質問したいと思います。1つ目は、この4月から県内で新教育委員会制度を始めた自治体を教えてください。2つ目は、相模トラフ等の地震も気になりますが、火山活動も話題になっていますので、町の対応方針を教えてください。3つ目は、子どもたちの図書館利用についてです、小学生の図書館カードの登録状況や利用状況を教えてください。

○（教育長）新教育委員会制度については、二宮町の他、横浜市、海老名市、大磯町、湯河原町が移行しています。また、27年度中の移行を検討している自治体もあるようです。

○（教育次長）手元に資料がありませんが、二宮町地域防災計画の想定には火山噴火の記載は無かったと思います。

○（生涯学習課長）小学生の図書館の利用状況については、平成25年度の統計になりますが、いわゆる小学生世代の貸出者数は、のべ7,441人です。この人数は、図書館全体の延べ貸出者数の7.4%にあたります。小学生の図書館利用については、小学校2年生は、授業の内容で図書館の利用方法があり、二宮小学校の2年生は、実際に二宮町図書館に来館し、実際に貸出をするなどの取組もしています。また、26年11月の就学時健康診断の際には、教育総務課と連携し、新小学1年生の保護者に、図書館の利用案内などを配布しました。

○（小林委員）他の小学校でも二宮小学校と同様の取組が出来ることが望ましいと思いますので、連絡会議などの機会に投げかけていただけたらと思います。子どもたちの読書離れが進む中で、継続的な取組をお願いします。

○（教育長）どのように二宮小学校の方式を他の小学校に伝えていくのがよいでしょうか。

○（生涯学習課長）他の小学校は、図書館との距離や移動時間で難しい所もあると思いますが、二宮小学校の取組内容を連絡会議で伝えていきたいと思います。

○（吉田委員）幼保小連携推進会議の構成と会議内容を教えてください。

○（指導班指導主事）町内幼稚園の園長先生の代表2人、町内保育園の園長先生の代表2人、町立小学校の校長先生1人、教頭先生1人、教育長、教育総務課長、担当指導主事で構成しています。内容として大きなものは、10月に開催する、年長児の小学校への体験入学に向けての調整です。

○（吉田委員）知人から、町外在住で、町内幼稚園に通園している年長児が、1年生になったら通うことになる自治体の小学校に体験でいけると良いという意見を聞きました。小学校入学時のギャップを少しでも埋めたいという気持ちがあるようなので、検討をお願いしたいと思います。

○（教育長）具体的にはどのような手法が考えられますか。

○（指導班指導主事）まず、二宮町在住で、町外の幼稚園などに通園している年長児の保護者に、体験入学の日程はすでに決まっているので、この取り組みを、園を通して周知していきます。町内の幼稚園等には、各自自治体の小学校に問い合わせする等の働きかけをしていきたいと思います。

○（吉田委員）普段から、保護者と、担任の先生のコミュニケーションが大切だと思います。小学校では、まもなく家庭訪問の季節ですが、学校の先生と保護者の距離を一層縮めることが出来ると良いと思います。先生と話す時にハードルが高いと感じている保護者もいるようです。先ほどの長期欠席者の事などもありますので、学校側、先生の方からの働きかけをお願いいたします。

○（教育長）保護者や子ども一人一人の気持ちと、集団に対応する教員とでは立場は違いますが、コミュニケーションを取ることが出来る雰囲気作りが必要だと思うので、学校に働きかけていきたいと思います。

○（小林委員）バレーボール協会が解散したそうですが、中学生のソフトバレーボール大会の対応はどうなるのでしょうか。

○（教育次長）ソフトバレーボール大会の主管をこれまでバレーボール協会にお願いしてきましたが、今年度はスポーツ推進委員の協力を得て実施していきます。

○（小林委員）バレーボール協会が解散すると、協会に対する補助がなくなってしまう、町内で活動する各チームなどの運営に影響が出ると思います。協会が解散してしまったので、町の支援が各チームにまで行き届くよう配慮が必要になると思うので検討していただきたいです。

— 報告協議事項 —

議案第1号 二宮町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則（案）について

- （教育総務課長）資料に基づいて、議案第1号について説明。
- （小林委員）補助執行というのは、大綱の策定や総合教育会議の運営等を教育委員会が行うということですか。
- （教育総務課長）実際に大綱の策定等を行うのは首長ですが、事務的な事を教育委員会の事務局が行うこととなります。総合教育会議で審議はしますが、決定するのは首長部局です。
- （小林委員）大綱の原案を教育委員会が作り、首長が執行するということでしょうか。教育委員会は意見をしっかりと組み込んでいくことが重要となり、責任が大きくなると思います。
- （教育長）原案は、教育委員会で十分議論を行ってから、首長部局に意見をもっていきます。
- （小林委員）首長部局でも規則の改正はされていますか。
- （教育総務課長）首長部局での改正に基づいて教育委員会の規則の改正をおこなっております。

（教育長）各委員に、議案第14号について諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第2号 二宮町体育施設の設置および運営の一部を改正する規則（案）について

- （生涯学習課長）資料に基づいて、議案第2号について説明。
- （吉田委員）回数券を導入しようと思った理由、経緯や効果を教えてください。
- （教育次長）経緯としては、議会から温水プールの経費について質問があったのをきっかけに、温水プールの利用者にアンケートを行ってきました。温水プールは1回400円かかり、年間パスポートもあるが、そちらは2万4千円かかります。アンケートの中では、年間パスポートを買うほどではないが、温水プールを継続的に使ってみたいという意見もありました。そういった状況の中で回数券の話が出てきました。1年間試行期間をもうけているので、試行期間後に実績を分析し、効果をみます。回数券の期限は、購入してから6か月間、11枚綴りで大人券と子ども券があります。
- （小林委員）期限を設けた方がいいのかわくした方がいいのか、検討課題ですね。
- （吉田委員）アンケートはどのように実施したのでしょうか。
- （教育次長）受付で直接手渡ししました。
- （教育長）歳入歳出の差はどれくらいあるのでしょうか。
- （教育次長）平成25年度は収入に比べて支出が約4千万円超過でした。
- （教育長）公共施設ですので、収入を見込むだけの施設ではありませんが、回数券に限らず、いいアイデアがあれば、教えていただきたいと思います。
- （教育次長）高齢介護課では、介護予防として利用する予定などもあります。
- （吉田委員）小学生に水泳教室は大変人気です。利用していない人の意見もアンケートなどで聞いていくことが必要なのではないでしょうか。
- （運實委員）温水プールの利用率は近年あがってきているようですね。理由は、小学生の水泳教室の回数が増えたことなどで、効果が出ていてよい事だと思います。

（教育長）各委員に、議案第14号について諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。

一 報告・協議事項一

(1) 二宮町教科書採択検討委員会設置要綱の制定について

(指導班指導主事) 資料に基づいて、二宮町教科書採択検討委員会設置要綱の制定について説明。

○(小林委員) 調査員は中地区で選んで調査研究を行うということですが、委嘱等はまだ行っていないのでしょうか。

○(指導班指導主事) 第1回の検討委員会が5月に予定されているので、そこで検討委員会が調査員を承認してからの委嘱となります。

○(小林委員) 調査員を選ぶのは大変だったのではないのでしょうか。

○(指導班指導主事) 臨時採用や再任用の方にはお願いできないので、苦勞したということはありません。

○(蓮實委員) 今までは、中地区ということでしたが、今年度から二宮単独の地区ということによりよいのでしょうか。

○(指導班指導主事) その通りです。

○(教育長) 二宮単独になったのは、どういう経緯ですか。

○(指導班指導主事) 県から採択地区の確認がきたのですが、二宮は中地区だと回答したのですが、8月に大磯は単独でという回答をしたことからです。

(2) 二宮町教育委員会広告掲載要綱廃止について

(生涯学習課長) 資料に基づいて、二宮町教育委員会広告掲載要綱廃止について説明。

○(小林委員) 今まで独自に広告掲載要綱というのがあったのでしょうか。

○(教育総務班長) 例えば、体育祭のプログラムの広告等の申し込み方法の要綱など、各課独自で持っていたのを財政課で1本化したことによる廃止です。

○(小林委員) 生涯学習課の事業等で広告を行っていたものをまとめて財政課がやってくれるということでしょうか。

○(教育総務班長) 事業者としては、町の広告の申し込み方法等が統一されてわかりやすくなったと思いますが、実際の事務は各課にて行うようです。

(3) 各種委員の選任について

(教育総務班長) 資料に基づいて、各種委員の選任について説明。

(4) 児童・生徒が安全・安心に生活するための申し合わせ事項について

(教育長) 資料に基づいて、児童・生徒が安全・安心に生活するための申し合わせ事項について説明。

(5) 神奈川県としてめざす小中一貫教育校について

(教育長) 資料に基づいて、神奈川県としてめざす小中一貫教育校について説明。

(6) 体力向上のための新たな取組

(教育長) 資料に基づいて、体力向上のための新たな取組について説明。

○（小林委員）児童・生徒が安全・安心に生活するための申し合わせについての学校への周知方法はどのように考えていますか。

○（教育総務課長）各学校へ訪問し、校長先生へ説明し、校長先生から各先生へ周知を徹底します。町へは議会全員協議会で報告します。

○（小林委員）学校訪問では、説明の用紙を配布するだけでなく、趣旨をしっかりと説明して、確実に安全安心について周知をお願いします。

（7）総合教育会議について

（教育総務課長）資料に基づいて、総合教育会議について説明。

○（小林委員）大綱とは、二宮町教育委員会の今後10年20年を見越して行うものでしょうか。町長の任期の間のような短期のものなのでしょうか。

○（教育長）町長の任期が4年、教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年なので、短期のものがいいのではないのでしょうか。

○（教育総務課長）大綱の上に総合計画があります。4年ぐらいの短期のものがいいと思います。教育振興基本計画については、ある程度の長期で考えています。

○（小林委員）安全・安心などについては、すぐに実施しなければいけません、小中一貫などは長いスパンを意識して話し合っていかなければいけないと思います。

○（教育長）大綱については、教育基本方針を基本に考えていきます。文章で長く書くよりは、憲章のように必要最低限のことを作成していきます。

（8）その他について

（教育総務班長）資料に基づいて、5月の予定について説明。

（教育総務課長）教育委員会の交際費の内容を町長の交際費と同様にホームページで公開する。

— 閉会宣言 —

（教育長）平成27年度4月定例教育委員会議を終了いたします。

12時15分終了